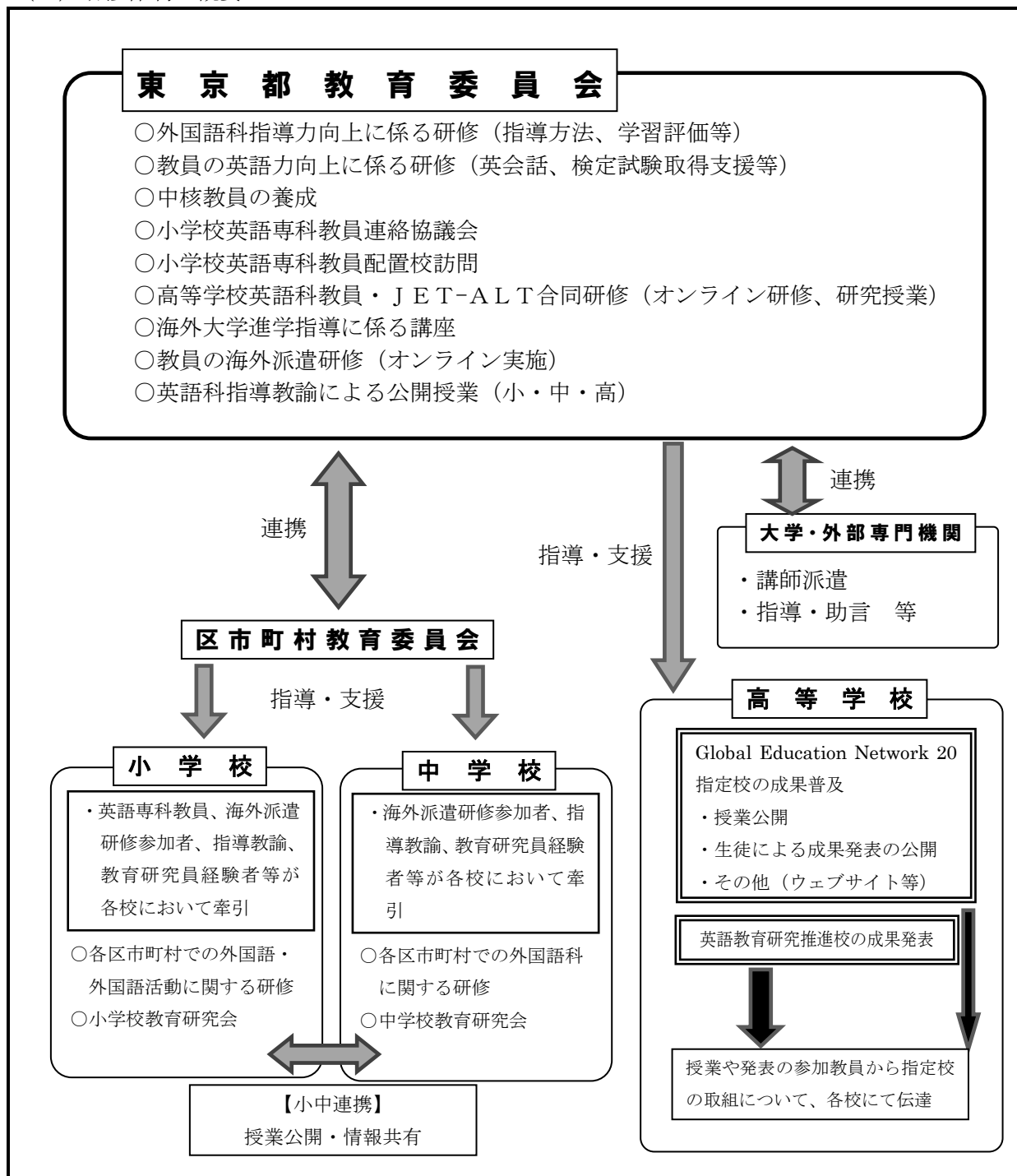


# 東京都英語教育改善プラン

実施内容

(1) 研修体制の概要



(2) 英語教育の状況を踏まえた目標管理

1 数値目標（①～⑥の番号は目標管理書の指標内容に対応 ※番号対応は小学校を除く）

(1) 高等学校、中学校及び小学校（小学校は学習到達目標の整備状況のみ）

① 学習到達目標の整備状況（設定・公表・達成状況の把握）

令和3年度は、学習指導要領（平成29年告示）の中学校全面実施に向けて、これまでに進めてきている取組を着実に進めるとともに、各学校において適切に学習到達目標を設定し、授業改善を進めることができるよう、区市町村教育委員会に対し、学習到達目標の設定・把握など、指導と評価の一体化に関わる内容について説明会等において周知を行うとともに、資料提供等を行った。その結果、小学校、中学校ともに、学習到達目標を設定する学校の割合が80%を上回った。

高等学校においては、各校において「学カスタンダード」の作成を求め、各校のホームページ

に公表されている。学習指導要領（平成30年告示）が実施される時期に合わせて、高等学校においてもCAN-DOリストの設定や公表、達成状況の把握について、広く周知していく。

学習到達目標の設定、公表、達成状況の把握目標値としては、令和3年度は、高等学校・中学校・小学校の全てにおいて100%とした。令和4年度も高等学校・中学校・小学校全てにおいて100%としている。

② 生徒の授業における英語による言語活動時間の割合（%）

令和元年度の結果を踏まえ、令和3年度は高等学校の目標値を65%、中学校の目標値を85%に設定し、目標値を達成すべく取り組んだ。令和4年度も、令和3年度の結果を踏まえ、高等学校の目標値を65%、中学校の目標値を85%として、授業改善・指導力向上研修の充実を図る。ペアワークやグループワーク等を含めて、授業内で生徒の言語活動時間の割合を増やす。

③ パフォーマンステストの実施状況

令和4年度の「スピーキングテスト」及び「ライティングテスト」については、高等学校及び中学校共に、テストの総合計数を全学科数で除した値の目標値を「5」に掲げ、その達成に向け取り組む。

今後、指導に必要な英語力を身に付けさせる研修を一層充実させるとともに、外部機関との連携を図り、「話すこと」及び「聞くこと」における外国語（英語）表現の能力を評価するパフォーマンステストの実施回数を増やす。

④ 英語担当教員の授業における英語使用状況（%）

現状を踏まえ、令和4年度は高等学校の目標値を100%、中学校の目標値を85%に設定し、実現すべく取り組む。英語担当教員が授業において発話を概ね、あるいは半分以上を英語で行うことができるよう、今後は、教員を対象とした外部検定試験の受験を支援していくなど、教員の英語力向上研修の充実を図る。さらに、授業改善・指導力向上研修を充実させ、どの科目においても英語の使用割合を増やす。

⑤ 求められる英語力を有する教師の割合（%）

東京都は平成26年12月に「東京都長期ビジョン」を策定し、「世界をリードするグローバル都市の実現」を都市戦略に掲げた。そして、その政策指針として、「東京、そして日本を支える人材の育成」を掲げ、令和3年までに「英検準1級、TOEFLiBT80点以上」の英語能力をもつ英語科教員の割合を高等学校で85%以上、中学校で60%以上となることを目指している。

令和4年度は令和3年度の結果を踏まえ、高等学校の目標値を85%、中学校の目標値を65%として研修体制の充実等に取り組む。

⑥ 求められる英語力を有する生徒の割合（%）

令和3年3月に公表した「『未来の東京』戦略」において、「戦略2 子供の『伸びる・育つ』応援戦略」として、「社会の様々な課題を主体的に解決していく力や、豊かな国際感覚を身に付け、Society 5.0時代の世界に羽ばたき、グローバルに活躍できる人材を育成する」ことを掲げている。その実現に向けて、2030年には、中学生英検3級程度80%、高校生英検準2級程度80%を目標に定め、中学生及び高校生の英語力の向上を図っていく。国が示した目標値「高校卒業段階に英検準2級～2級程度以上50%」「中学卒業段階に英検3級程度以上50%」を踏まえ、令和3年度は、高等学校・中学校ともに目標値を60%とし、取組をすすめた。令和4年度も令和3年度の結果を踏まえ、高等学校・中学校の目標値を共に60%として授業改善に取り組む。

○ 英語担当教員に対する研修実施回数（東京都教職員研修センター）

令和3年度は、高等学校教員を対象に延べ25回の研修を実施し、延べ351名が受講した。また、中学校教員を対象に延べ20回の研修を実施し、延べ429名が受講した。

令和4年度は、教職員研修センターにて、高等学校教員を対象に延べ33回の研修実施及び延べ840名の受講を、中学校教員を対象に延べ30回の研修実施及び延べ970名の受講を目標として、研修機会と内容の充実に取り組む。

(2) 小学校

②及び③ 小学校教員に対する研修実施回数（東京都教職員研修センター）

令和3年度は、小学校教員を対象に延べ32回の研修を実施し、延べ919名が受講した。令和4年度は、教職員研修センターで小学校教員を対象に延べ33回の研修実施及び延べ910名の受講を目標として、研修機会の拡大と内容の充実に取り組む。

○小学校の新規採用者に占める一定の英語力を有する者の割合  
 教員採用候補者選考において、一定の英語力を有する者が受験しやすい特別選考等を設定し、2023年度（令和5年度）は目標値を20%として取り組み、2025年度（令和7年度）において50%以上の者が一定の英語力を有することを目指す。

(3) 研修の体系と内容の具体（東京都教職員研修センター）

1 研修の体系と内容の具体

(1) 指標に準拠した外国語教育の研修体系・内容の構築

東京都教育委員会「東京都公立学校の校長・副校長及び教員としての資質の向上に関する指標」に基づき、研修内容を基礎形成期、充実期及び発展期の段階ごとに設定し、教員がキャリアに応じて求められる資質の向上に努められるような外国語教育の研修を構築する。

(2) 外部機関と連携した研修の実施

大学等の外部機関と連携した研修を実施し、指導力及び英語力の向上を図る。

(3) 文部科学省の視学官等を招聘

文部科学省の視学官等を講師として招聘することで、最新の情報や指導法等に関する専門的な見識を高める研修を実施する。

(4) 一人1台端末の効果的な活用について学ぶ研修の新設

一人1台端末の活用について学ぶ研修を各校種で新設し、効果的な指導方法を学ぶ機会とする。

(5) 学習指導要領の趣旨を踏まえた指導法及び学習評価について学ぶ研修の実施

高等学校教員を対象とした研修では、新学習指導要領の目標を具現化する指導法及び学習評価に関する研修を実施する。また、新科目に対応した授業づくりに関する研修も実施する。

(6) オンライン研修の拡大

「英語 ONE DAY」等の英語力向上研修において、オンライン研修を積極的に導入し、「聞く」「話す」の音声面の環境向上を図るとともに、移動時間の削減や新型コロナウイルス感染症の感染リスクの軽減等の受講者の利便性と安全性を向上させる。

2 令和4年度計画

	令和4年度
研修回数	44
延べ受講予定人数	1,440

研修名	目的	受講対象者	研修回数	受講予定人数	連携機関等
小学校 英語教育入門	外国語活動及び外国語科の授業実践に必要な英語力や指導技術を身に付けられるよう、大学の教授を講師とした研修を通じて、小学校外国語活動及び外国語科の授業づくりの基礎・基本を学びます。	小・特	2	50	大学との 連携研修（予定）

英語【Ⅰ・Ⅱ】 (小・特)	小学校学習指導要領外国語科の目標及び内容等を理解し、一人1台端末を効果的に活用した、小学校外国語科の授業づくりの基礎・基本を学びます。	小・特	2	25	文部科学省 (予定)
英語【Ⅰ・Ⅱ】 (中・特)	中学校学習指導要領外国語科の目標及び内容等を理解し、一人1台端末を効果的に活用した、中学校外国語科の授業づくりの基礎・基本を学びます。	中・特	2	25	文部科学省 (予定)
英語【Ⅰ・Ⅱ】 (高・特)	高等学校学習指導要領の目標及び内容等を理解し、一人1台端末を効果的に活用した、授業づくりの基礎・基本を学ぶとともに、学習評価についても学びます。	高・特	1	30	文部科学省 (予定)
英語【Ⅱ・Ⅲ】 (小・中・特)	小学校から中学校までの系統的な指導の在り方について学び、小学校及び中学校の外国語科の指導に関する理解を深めます。	小・中・特	1	200	文部科学省 (予定)
英語【Ⅱ・Ⅲ】 (中・高・特)	生徒の4技能を養い、コミュニケーションを図る資質・能力を育成する指導の工夫について学び、授業改善の視点について理解を深めます。	中・高・特	1	200	(一財) 実用英語推進機構 (予定)
英語【Ⅲ】 (高)	ディベート、ディスカッション、エッセイライティング等の指導方法を学び、新科目に対応した授業づくりについて理解します。	高	1	50	大学との連携研修 (予定)
英語還元 (高・特)	英語教育推進リーダーから最新の指導理論や方法について学ぶことにより、各学校における英語教育を推進する力を高めます。	高・特	4	40	
英語 ONE DAY (Basic)	講師や受講者との英語によるコミュニケーションの体験を通して、英語を聞いたり話したりする楽しさを体験するとともに、授業での指導に役立つ英語表現を習得します。	小・特	3	20	業者委託による研修 (予定)
英語 ONE DAY (Advanced)	ネイティブ講師とのオールイングリッシュによるコミュニケーションの体験を通して、授業での指導に役立つ発展的な英語表現を習得します。	小・特	1	20	業者委託による研修 (予定)
英語コミュニケーション (日本の伝統・文化紹介)	都内の名所を英語で紹介する等の実地研修を通して英語力を高めるとともに、一人1台端末を効果的に活用した授業について体験を通して学びます。	中・高・特	2	20	業者委託による研修 (予定)
英語力 UP 講座 【英検準2級取得支援講座】	問題演習や講義、講師との模擬面接に取り組むことで、英語検定準2級を取得することを目指します。	小・中・高・特	6	20	業者委託による研修 (予定)
英語力 UP 講座 【英検2級取得支援講座】	問題演習や講義、講師との模擬面接に取り組むことで、英語検定2級を取得することを目指します。	小・中・高・特	6	20	業者委託による研修 (予定)

英語力 UP 講座 【英検準 1 級取得・TOEIC730 点突破支援講座】	問題演習や講義、講師との模擬面接に取り組むことで、英語検定準 1 級や TOEIC730 点以上を取得することを目指します。	小・ 中・ 高・特	6	20	業者委託による 研修 (予定)
英語力 UP 講座 【英検 1 級取得・TOEIC860 点突破支援講座】	問題演習や講義、講師との模擬面接に取り組むことで、英語検定 1 級や TOEIC860 点以上を取得することを目指します。	小・ 中・ 高・特	6	20	業者委託による 研修 (予定)

3 研修評価方法

(1) 研修当日の受講者アンケート  
研修終了後、Web アンケートシステムにより、理解度・満足度・活用度等の指標に基づき、アンケートを実施。その結果を集計し、分析する。

(2) 受講者への直接ヒアリング  
受講者アンケート内容から対象者を選定し、本人へのヒアリング等により、研修活用度や学校への普及・還元の状況等を聴取する。

(3) 外部評価の実施  
上記①②を踏まえ、各研修を総合的に自己評価するとともに、次年度の研修構築案を策定する。自己評価結果及び次年度研修構築案は、東京都教職員研修センター運営協議会において報告し、各校種代表校長、専門家・外部有識者、東京都教育庁指導部各課長等から外部評価を受ける。

4 小学校の新規採用者に占める一定の英語力を有する者の採用  
教員採用候補者選考の申込区分において、引続き小学校全科（英語コース）を設置するとともに、特別選考を実施する。  
更に、教員採用候補者選考における大学推薦においては、一定の英語力を有する者の推薦基準を設定する。

